

○事業所名	放課後等デイサービス つき			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 12日		～	2025年 2月20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応を中心とし、ご利用者さまが安心して過ごしていただけるような場所作りに努めている	・個々の障害特性（聴覚過敏・他害行為等）に対応できる空間作りに努めている。 ・おやつ作りや工作などの活動を個々の力に合わせながら無理なくスモールステップで取り組んでいる。	個別対応を中心としつつ、集団活動にも参加しやすいスペースを提供していく。
2	保護者さまのニーズに沿った送迎時間	保護者さまの要望に応えられるよう送迎時間の調整・送迎ドライバーの配置を行なうことで、保護者様の負担軽減に繋げている。	ご利用者様の困りごとがあった日は、支援員も送迎に同行するなどをし、保護者様に説明をしている。
3	曜日別に活動プログラムを立て無理なくご利用者さまが参加できるようにしている	順番を守って活動に参加することで、協調性や自主性を養っていく。また、ご利用者様一人ひとりの障害特性に合った活動（療育）内容を話し合いスモールステップで進めていくことでご利用者さまが負担に感じないように努めている。	プログラム（活動内容）を実施する際、ご利用者さまが取り組みやすいアイテムを提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の場の活用や地域住民（子ども）との関り	地域の情報収集が不足しており、交流や参加する機会が少ない。	地域主催のイベントには参加していき、当事業所からも触れ合える場を提供していく。
2	統一した支援の提供	経験やスキルの差があり、場合によっては支援の仕方にばらつきがみられる。	内部研修・外部研修等を行ない、支援員1人ひとりのスキルアップに繋げていく
3			